祝辞（贈る言葉）

ＰＴＡを代表して、私からはお祝いと感謝と、そして激励の想いを述べたいと思います。

二〇二〇年は、例年になく暖冬で小雪でした。全国からはすでに鶯や雲雀の初泣きの聲と、梅の花が咲き始めたといった便りも届いている今日のこの良き日に、ただいま卒業証書を授与されました三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。万感の想いを込めてお祝いの気持ちを届けたいと思います。今は、達成感や満足感そして喜びの感情で一杯ではないかと推察します。

卒業生の保護者の皆様、入学して以来三年間お子様を慈しみ育て励まし、見守ってこられたことに敬意を表したいと思います。あわせて、この新潟商業高等学校のご卒業を心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

校長先生をはじめとして卒業生に寄り添ってこられた教職員の皆様、これまでの御指導に厚く御礼申し上げます。そして卒業生の今があるのは先生方のご鞭撻の賜と重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。

ところでこの一年余りを振り返り、卒業生の皆さんが中心となって学校行事が大いに盛り上がったことの一端を紹介し、その活躍に対する感謝の気持ちを表したいと思います。

一つには「葦原大運動会」での活躍ぶりです。今年度はグラウンドの改修工事のために新潟市陸上競技場での開催となりましたが、好天にも恵まれ、メインスタンドでは大観衆が固唾をのんで見つめ応援する中を盛大に行われました。最も圧巻と思われたのが、バックスタンドに設置された九メートルにも及ぶパネルや横断幕を背景に、九軍各軍がそれぞれのカラーＴシャツを身に付けての応援合戦で、圧倒され放しという感情となりました。素晴らしかったの一言です。

二つには全国産業教育フェア新潟大会に併せて朱鷺メッセで開催された二日間にわたる「葦原祭」での活躍です。総合開会式・閉会式では吹奏楽部とダンス部のアトラクションを拝見いたしました。ここでも「新商生」の活躍が伺えました。さらに、プログラムにも掲載されていましたが、展示ホールにおいては二一社の出店が参加してお客さまをもてなす光景を目の当たりにできたことです。全国の専門高校の生徒たちの作品展示・研究発表・体験発表などが行われている中においても、「新商生」の存在感が輝いて見えました。存在感を感じ取れたのです。

三つには卒業生の貴重な体験を聞くことができる「ＰＴＡ進路座談会」についてです。これはすでに別の機会に紹介したことがありましたが、卒業生が参加した大勢の保護者を前にそれぞれの成功体験を発表するものです。昨年度の卒業生が堂々と発表した姿を今でも鮮明に思い出すことができますが、これぞ「新商生」（私は「ＴＨＥ新商生」と表現しています）と言っても過言ではありません。今年度の開催は卒業式後となりますが、その日を今から楽しみにしています。

もちろんこれらの他にも様々な感動と思い出があったことは言うまでもありません。

結びに、ある資料館の語り部の方の「苦しい出来事や悲しい出来事の中には、幸せにつながっている出来事がたくさん含まれている。このことに気づくか、気づかないかで、その人生は大きく変わっていく。気づくには、ひとつだけ条件がある。それは出来事と正面から向かい合うことである。」という言葉で激励の想いを表したいと思います。すなわち、卒業生の皆さんが今後生きていく上において様々な出来事に遭遇することでしょう。中には困難な出来事もあって、戸惑ってしまうこともあるかも知れません。そんな時にこそ、どうか「ＴＨＥ新商生」としての心意気を忘れずに、出来事に真正面から立ち向かい、そして、自分で見て、自分で考えて、自分で知って、自分で表現をし続けていってほしいと思います。

卒業生の皆さんの旅立ちにあたり、前途が洋々であることを確信し、それぞれが素敵な人生を歩まれることを期待しています。どうぞいつまでもお元気でご活躍ください。

二〇二〇（令和二）年三月三日

ＰＴＡ会長　今井勇雄